

## 1 学期の行事のフィナ - レを飾る

夏休みを間近にひかえた7月12日から14日まで、1学期の行事の締め括りとして、6年生が、大阪府立青少年海洋センターで体験学習・海洋トライアルを行いました。3日間とも天候に恵まれ、6年の子どもたちは、1学期の行事のフィナ - レに相応しい立派な態度で参加し、海ならではの貴重な体験をすることができました。

### ＝ 1 日目 ＝

学校を出発して、1時間20分ぐらいで、海洋センターに着きました。開所式の後、着がえをして、近くの砂浜でサンド遊びをしました。グル - プごとに砂山を作ったり、貝殻を集めたり、小さな魚を捕ったりするなど、子どもたちは、楽しそうに遊んでいました。

昼食後は、自分たちで組み立てたいかだで、楽しみました。まず、タイヤと細長い板を組み合わせて、いかだを作ります。8人が1組になって協力して、うまく作ることができました。そのいかだを海辺まで運び、いよいよ出発です。子どもたちは、パドルをうまく使い、沖へと漕ぎ出していきました。湾内のブイを回って、出発地まで帰ってくるのですが、「負けへんで！負けへんで！」と、グル - プのみんなで声を揃えて、競い合いながらゴールを目指す子どもたちの姿が、とても印象的でした。続いて、自然観察ラリーが、行われました。館内の各場所に展示された10の問題をグル - プで協力して探し解答を考えます。子どもたちが持ってきた「自然観察ラリー - 解答用紙」を見ると、なかなかユニ - クな答を書いているグル - プも多く、子どもの発想の豊かさに驚かされました。夕食後は、キャンプファイヤ - が行われました。赤々と燃える火を囲み、係の子どもたちを中心に、ゲ - ムをしたり、歌を歌ったりして楽しい一時を過ごすことができました。一日の反省をした後、一人一人の子どもが楽しかったことを葉書に書き、1日目の活動が終わりました。

### ＝ 2 日目 ＝

午前中は、OPセ - リングをしました。OPとは、オプティミスト・ディング - といい「楽天家のヨット」という意味だそうです。まず、4人のグル - プに分かれて、ヨットを組み立てました。指導員の方の話をしっかり聞き、次々と、上手に帆を立てることができ

ました。続いて、組み立てたヨットを子どもたちが、海辺に運び出航しました。当日は、適当な風が吹いており、どのヨットも2人（4人のグル-プが、前半と後半に分かれて実施）で力を合わせ、うまく操縦していました。

午後からは、前半と後半のグル-プに分かれ、カヌ-に乗りました。最初に指導員の方からパドルの使い方を教えてもらいました。その後、子どもたちは、海に滑り出しました。はじめは、パドルの使い方が十分でなかった子どもも、しばらくするとうまく使いこなし、スイスイと気持ちよさそうに、漕いでいました。夕食後は、体育館で、キャンドルサービスが行われました。ろうそくだけの明かりという幻想的な雰囲気の中で、付添いの先生方からお話を聞くなど、楽しい一時を過ごしました。引き続き、夜の海岸散策が行われました。対岸に関西空港の夜景が美しく、空には星が輝き、遙か遠くの空には雷光が見えるなど子どもたちは、大自然のすばらしさを満喫したことと思います。

= 3日目 =

いよいよ最終日。子どもたちは、食欲も旺盛で元気です。太陽の照りつける中、最後の活動となるカッタ-訓練が、1組と2組に分かれて行われました。

各カッタ-に乗った12～14名の子どもたちは、指導員の方からオ-ルの使い方を教えてもらった後、沖へ向かって漕ぎ出しました。指導員の方の「そおれ」のかけ声の後、子どもたちは「いち、にい」とかけ声をかけながらオ-ルを漕ぎます。かけ声に合わせて、子どもたちが、カ一杯オ-ルを漕ぐので、カッタ-は、風をきって進み、湾の外まで漕ぎ出していきました。カッタ-訓練を通し、子どもたちは、みんなの心を一つに合わせてがんばることの大切さを実感してくれたことと思います。

榎並小学校の最高学年として、常に自覚をもち立派に行動した子どもたちの姿が印象的な3日間でした。